

3市合同男女共同参画社会に向けての市民意識調査より(7)

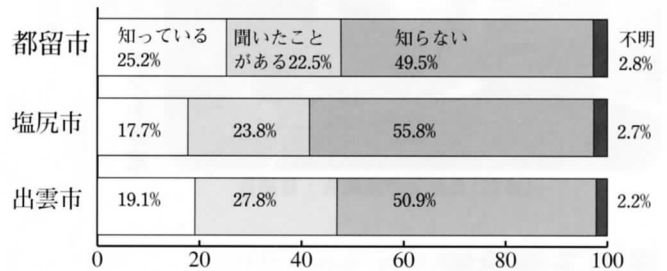
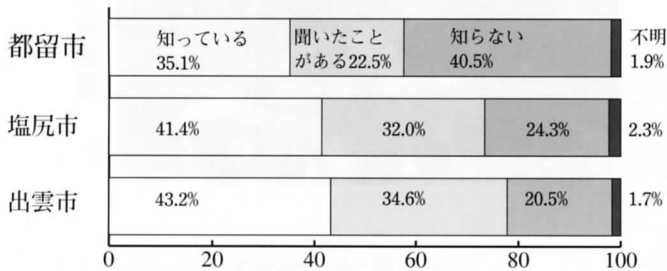
全国に先駆けて男女共同参画に係る条例を制定した都留市、島根県出雲市、長野県塩尻市の合同事業として、実施しました男女共同参画に関する市民意識調査の結果が、この度、まとまりました。

調査は、男女共同参画社会の実現に向けた事業の推進を図るための基礎資料の作成を目的に、共通項目19項目を設け、満20歳以上の男女を対象に行われ、都留市では平成13年12月依頼した300人の内、111人の方から回答をいただきました。以下、調査の結果を紹介します。

◎ 1 あなたは、次の言葉を知っていますか？

◎男女共同参画社会

◎ジェンダー



◎ 1 解説

「男女共同参画社会」を「知っている」「聞いたことがある」と答えた人の比率は3市とも高いですが、「知らない」と答えた人の比率は、都留市では40%を超え、出雲市、塩尻市の倍となっています。

一方、「ジェンダー」については、「知っている」「聞いたことがある」と答えた人の比率は、50%前後と3市とも「男女共同参画社会」ほど周知されていない状況がうかがえます。

※ジェンダーとは

社会的・文化的につくりあげられた「性差」をジェンダーといいます。「男は仕事」「女は家庭」「男は男らしく、女は女らしく」など、人々の意識の中に根付いた後天的な「性差」のことです。

◎ 2 「女性の生き方」として、あなたが望ましいと思うのはどのような生き方でしょうか。

(1つ選択)(男性も回答)

項目	都留市	塩尻市	出雲市
結婚せず仕事や趣味に生きる	1.8%	0.6%	1.2%
結婚しても、子どもは持たず、仕事や趣味を優先	0.0%	1.1%	0.0%
家事や地域活動を夫と分かち合い、仕事と家庭を両立	49.5%	52.8%	52.0%
結婚を契機に仕事をやめ、家庭に入る	8.1%	3.7%	0.6%
出産を契機に仕事をやめ、家庭に入る	2.7%	2.5%	2.9%
結婚や出産で一時期家庭に入るが、育児が終わると再び仕事	30.6%	32.9%	37.6%
その他	4.5%	5.6%	5.7%
不明	2.8%	0.8%	0.0%